

財務諸表

第37期 株式会社海部清掃

自令和3年7月1日  
至令和4年6月30日  
(単位：百万円)

貸借対照表

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
流動資産	3,616	流動負債	367
固定資産	2,174	固定負債	0
有形固定資産	2,147	負債合計	367
無形固定資産		<b>【純試算の部】</b>	
投資その他の資産	25	株主資本	5,423
繰越資産	0	資本金	10
資本剰余金	0	利益剰余金	5,413
		純資産合計	5,423
資産合計	5,790	負債・純資産合計	5,790

繰越資産及び資本剰余金については計上なしのため、貸借対照表に記載なし。

損益計算書

科目	金額
売上高	2,190
売上原価	2
売上総利益	2,188
販売費及び一般管理費	1,185
営業利益	1,003
営業外収益	2
経常利益	1,005
特別利益	
税引前当期純利益	1,005
法人税住民税等	342
当期純利益	663

株主資本等変動計算書

	当期首残高	当期変動額	当期純利益	当期変動額合計	当期末残高
株主資本					
資本金	10				10
資本準備金					
他資本剰余金					
利益準備金	2				2
他利益剰余金	4,348		663	663	5,011
株主資本合計	4,760		663	663	5,423
純資産合計	4,760		663	663	5,423

個別注記表

- I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - 1 資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法を採用
  - 2 固定資産の減価償却の方法  
①有形固定資産・・・建物 は定額法、建物以外は定率法 ②無形固定資産・・・定額法
  - 3 引当金の計上基準  
貸倒引当金  
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について法人法税の規定による法定繰入率により計上
  - 4 収益及び費用の計上基準 収益は実現主義、費用は発生主義
  - 5 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理は、税抜方式で計上
- III. 株主資本等変動計算書に関する注記  
当事業年度の末日における発行済株式の数 200株